

トンネルづくりについて

- 準備するもの（ダンポール 14 本・トンネルフィルム 5m・杭 30 c m2 本）



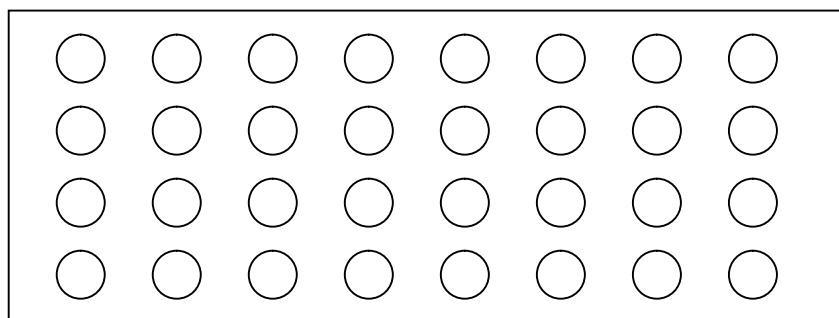
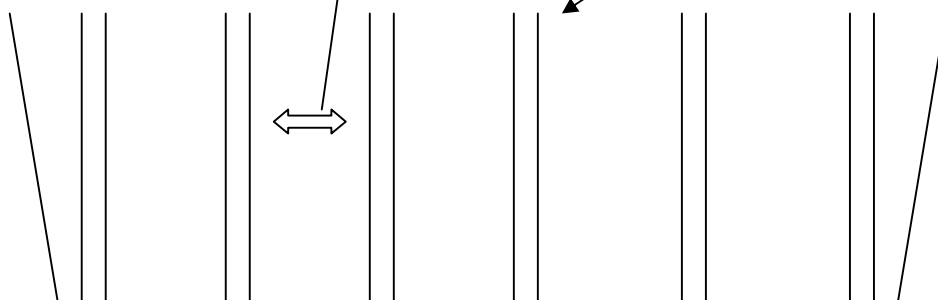
→
完成図



手順（ビニール 5mの場合）

間隔は 50 c m ~ 60 c m

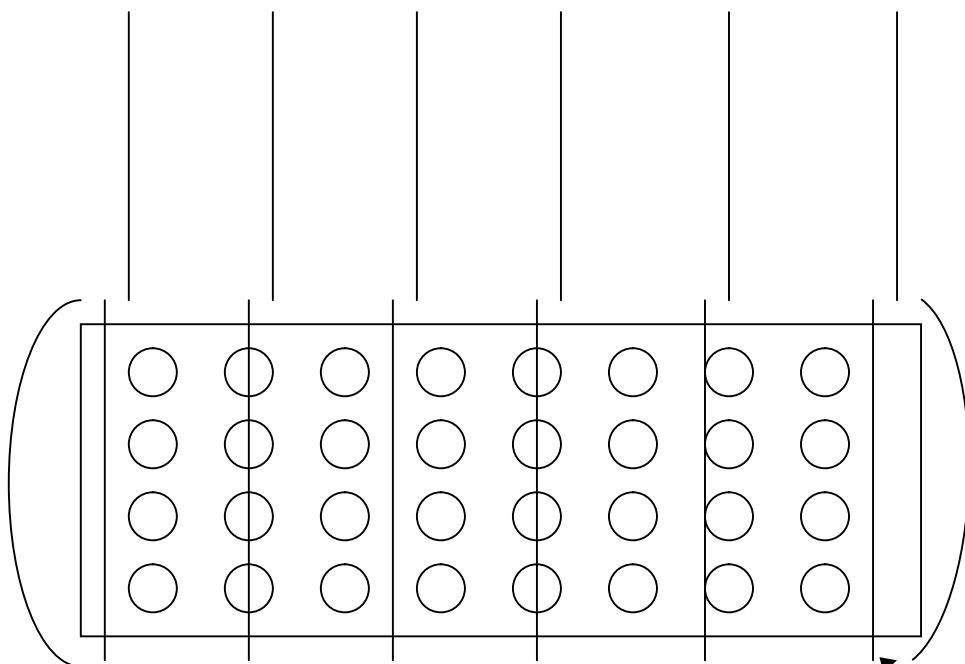
ダンポール



ダンポールを 2 本ずつ刺していく 両端は 3 本刺す ダンポールとダンポールの間隔は 50 ~ 60 c m



1 本残して土の中に刺していく



ここで残ったほうのダンボールは後ほど
ビニールの上からビニールをはさむために使用する

両端のダンボールは、角度を
45° にして刺していくこと



ビニールを張るとこうなる



ビニールを張る



ビニールの中心（真ん中）がダンボールの頂上にくるようにして、
ダンボールの上にビニールを広げる

杭を斜め 45° の角度で半分打ち込んでいく

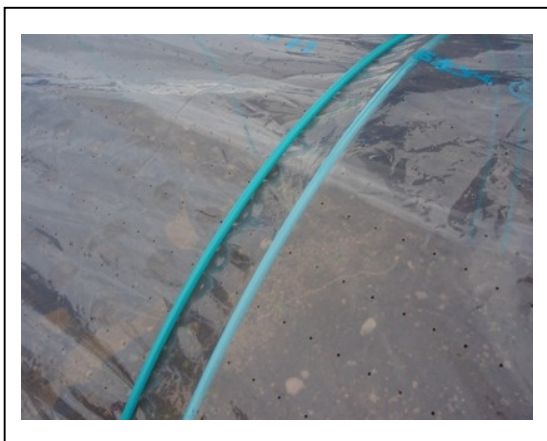


ビニールを縛って、残りの杭を打ち込む



逆側も同じように行い、
ビニールがたるまないように注意しながら
杭に縛り、打ち込む

まだ刺しこんでいないダンポールを、ダンポールとダンポールでビニールをはさむように刺しこんでいく(このときにビニールがピンと張っているようにすること。調整は両端のダンポールを動かすことで調整が出来る)



- ・ 種を植えるときは先に種を植えてからビニールをかける
- ・ 収穫のときはビニールをずらして収穫することが出来る
- ・ 隙間が空いている部分は盛り土をする
- ・ ビニール内はあたたかくなるため、虫にとっては心地よい環境となるため、こまめな駆除が必要となる
- ・ ビニールにたるみがあると強風等で飛ばされる可能性が高くなる

以上、参考としてお送りいたします。すでに張られているものを確認していただき、取組んでみてください。